

別添3 (第4の1関係)

令和6年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	滋賀県		
(1) 会議等の名称	滋賀県学校給食用牛乳協議会および 学校給食用牛乳供給に係る 意見交換会	衛生管理基準に関する研修会 ((一社)日本乳業協会主催のHACCP に沿った牛 乳衛生講習会)	衛生管理基準に関する研修会 (滋賀県学乳供給業者に対する衛生管理について の研修)
(2) 日付	令和6年10月9日	令和6年8月5日	令和6年11月22日
(3) 場所	JA滋賀中央会滋賀県農業教育情報センター 研修室(大津市)	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)	JA全農しが野洲総合センター(野洲市)
(4) 参加機関と 人数	(公財)滋賀県学校給食会 滋賀県内市町教育委員会事務局 滋賀県牛乳事業協同組合 県内学乳供給業者 滋賀県畜産課 全農滋賀県本部(事業実施主体) 計25名	滋賀県内学乳供給事業者 全農滋賀県本部(事業実施主体) 計9名 その他、近畿地域の学乳供給事業者	滋賀県内学乳供給事業者 滋賀県 全農滋賀県本部(事業実施主体) 計14名
(5) 議題	・県内酪農情勢および生乳の需給状況について ・滋賀県学校給食用牛乳供給について ・学校給食用牛乳供給推進事業について ・規定の改正について ・学校給食用牛乳供給に係る意見交換会	・牛乳衛生講習会 ・乳協及び行政関連情報について	・酪農情勢報告 ・滋賀学乳事業者対象衛生研修
(6) 概要	・県畜産課から県内の酪農全般に係る情勢報告、令和7年度学乳供給計画、供給価格決定の方法やスケジュールを説明。 ・事業実施主体から令和5年度の学校給食用牛乳供給推進事業実績の報告と令和6年度の学校給食用牛乳供給推進の説明 ・意見交換	・講師2名からHACCP に則った衛生管理の基礎及び牛乳・乳製品の制度改正に係る取り組みや品質事故対策についてテキストを元に説明。	・事業実施主体から全国の生乳用途別販売実績の報告や、滋賀県の生乳生産・農家戸数の動向について報告。 ・講師からHACCP に則った衛生管理の基礎や見落としやすいポイント、2024 年食中毒発生状況について、テキスト元に説明。
(7) 成果	・関係者・学乳供給業者の現場担当者で学乳を含む給食費用の見込み、供給計画作成、配送の体制、スローレスバック対応等について意見交換を行い理解を深めることできた。 ・県内酪農家の動向や生乳および牛乳乳製品の需給状況など今後の生乳生産について情報の共有を図り、供給体制の確認が行えた。	・学乳の製造に係る衛生管理について学ぶことができた。 ・実際に起きた衛生事故事例により、事故発生時の対応について再点検するきっかけとなった。 ・研修受講後、各自が自己管理チェックリストを実施することで、研修内容と自社製造工程の再確認を図ることができ、安全安心な学乳の製造に寄与した。	・学乳の製造に係る衛生管理事項について学ぶことができた。 ・洗浄不足等の管理不足によって牛乳の風味異常につながる等説明を受け、管理事項を再点検するきっかけとなった。 ・研修受講後、個別に講師より直接衛生指導を受ける供給事業者もあり、安全安心な学乳の製造に寄与した。

令和6年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	京都府			
(1) 会議等の名称	第1回学校給食用牛乳供給推進協議会	第2回学校給食用牛乳供給推進協議会	食品衛生研修会	生産工場の視察
(2) 日付	令和6年11月28日	令和7年3月28日	令和6年8月5日	①令和6年6月12日、②令和7年2月25日 ③令和7年3月3日(書面確認)
(3) 場所	京都獣医畜産会館 (京都市)	書面開催	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)	府内学乳供給事業者の生産工場
(4) 参加機関と人数	京都府畜産課 京都市町村教育委員会連合会 京都市教育委員会 京都府学校給食会 京都市学校給食協会 JA全農京都 京都府牛乳協会(事業実施主体) 計11名 オフサバー 雪印メグミルク JA京都 計4名	京都府市町村教育委員会連合会 京都府教育庁 京都市教育委員会 京都府学校給食会 京都市学校給食協会 JA全農京都 京都府畜産課 京都府牛乳協会(事業実施主体) 計13名	京都府内学乳供給事業者 京都府牛乳協会(事業実施主体) 計5名(うち2名自主受講) その他、近畿地域の協会会員	京都府牛乳協会1名 京都府内学乳供給事業者(①2名、②3名、③1名)
(5) 議題	・令和 5年度供給実績、補助金交付状況等 ・令和 6年度供給計画と1学期実績 ・配送問題に係る課題について(雪印メグミルク、JA京都 畜産酪農センター) ・京都市中学給食拡大、飲用後の紙パックリサイクルについて ・雪印メグミルクが提供できる食育出前授業について	・令和6年度供給実績(1・2学期)について ・令和6年度新規利用校の供給実績・計画との比較 ・令和 7年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施 ・令和 6年度から7年度にかけて供給校の動き ・令和 7年度学校給食用牛乳供給推進事業実施計画 ・話題提供	①乳協及び行政関連情報 ・乳協及び行政関連情報 ②衛生講習 ・ HACCPについて ・ 衛生管理の基礎 ・ 教育・訓練とコミュニケーション ・ 工程での衛生・品質管理	品質管理状況確認と改善指導
(6) 概要	・令和 5年度供給実績、補助金交付状況等を資料提示。 ・令和 6年度供給計画を資料提示。1学期実績本数について説明。 ・雪印メグミルク、JA京都 畜産酪農センターから、現状・直近の配送に係る課題について資料提示・説明。 ・京都市から令和10年度を目途とする中学校-全員給食の件、及び 現小学校での飲用後の紙パックリサイクルの取組について説明。 ・雪印メグミルク から小学生対象の食育プログラムについて実演を交えて紹介。	・1,2学期の供給実績及び遂行率を資料提示。 ・新規利用校の1,2学期飲用実績及び遂行率を資料提示。 ・令和 7年度『国産牛乳乳製品 需要・消費拡大対策予算』資料を提示。(学乳分 総額 550百万円、前年同額) ・供給校のうち廃止 2校・小中統合 2件 を確認。 ・R7学乳実施計画を提示し、供給本数、補助単価を確認。 ・テトラ ブリック紙容器の仕様変更の進捗状況を提示。	2名の講師から、一般社団法人日本乳業協会のテキストに基づき 乳協及び行政関連情報の説明 ① HACCPについて ② 衛生管理の基礎 ③ 教育・訓練とコミュニケーション ④ 工程での衛生・品質管理 と題した内容について講義。	①保健所による衛生監視の立ち合い ②、③保健所による食品衛生監視票、HACCP自己チェックリストの確認。
(7) 成果	・令和 5年度供給実績、補助金交付状況等を共有。 ・令和 6年度供給計画と1学期実績を共有。 ・運送業者・適正トン数のトラック確保に苦慮していること等問題提起されたが、具体的な解決方法について議論できなかったため、継続検討とした。 ・京都市中学校全員給食の件、現在も希望生徒分を配送していることもあり、増本分について各社が持ち帰る課題とした。 ・京都市-現小学校のリサイクルは、100%実施に向けて市教委が鋭意取組中であることを共有。	・2学期までの供給実績本数を確認。 ・令和7年度の供給計画本数、補助金額を確認・共有することができた。 ・学乳容器の環境対策として、現時点で可能な改善点が導入・実施されていること、飲み口シールは城陽市分以外の全ての区市町村で貼付けを止めたこと、該市の対応準備が整うのを待つことを共有した。	・HACCP・衛生管理の基礎から工程での衛生・品質管理まで、具体例を含む講習内容はわかりやすく、受講者が現場管理へ応用できる。	・各供給事業者の工場における品質管理状況を確認できた。 ・点数が低い供給事業者は、引き続きHACCP研修会の受講と研修内容の現場への反映が必要であること、設備環境の老朽化を確認できた。

別添3(第4の1関係)

令和6年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	大阪府			
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進協議会	学校給食用牛乳供給事業 代表者・担当者会議	食品衛生研修会	巡回調査
(2) 日付	令和6年11月21日	令和6年3月6日	令和6年8月5日	令和6年6月4日～同年7月17日
(3) 場所	大阪府学校給食会 会議室 (大阪市)	スイスホテル南海大阪 (大阪市)	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)	府内学乳供給事業者工場
(4) 参加機関と 人数	大阪府(環境農林水産部流通対策室、教育庁協 畜振興室) 大阪市教育局委員会 大阪府学校給食会 (一社)大阪府牛乳協会(事業実施主体) 計12名	大阪府内学乳供給事業者 (一社)大阪府牛乳協会(事業実施主体) 計17名	大阪府内学乳供給事業者 (一社)大阪府牛乳協会 (事業実施主体) 計17名 その他、近畿地域の学乳供給事業者	(調査実施主体) 大阪府 大阪府学校給食会 大阪府牛乳協会 (調査実施工場) 計9か所
(5) 議題	・令和6年度学校給食用牛乳推進事業について ・令和7年度学校給食用牛乳推進事業について	・令和7年度大阪府学校給食用牛乳供給事業に ついて	・HACCP について ・衛生管理の基礎 ・教育・訓練とコミュニケーション ・工程での衛生・品質管理 ・日本乳業協会の講習会について ・小規模事業者衛生管理支援事業について ・牛乳・乳製品の制度改正に係る取り組みについ て ・HACCP 手引書について ・食品衛生基準行政の消費者庁への移管 ・品質事故対策から学ぶ(二つの事例をもとに)	(調査目的) 学校給食用牛乳供給事業の円滑な実施、乳業事 故等の発生の未然防止、牛乳の安全性確保
(6) 概要	・令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業につ いて、(一社)大阪府牛乳協会から報告の後、ス トローレス対応牛乳パックの導入状況など につ いて意見交換。 ・令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業につ いて、府流通対策室から報告の後、府内市町村 からの要望書に係る対応などについて意見交換。	・(一社)大阪府牛乳協会から令和7年度学乳供 給価格、大阪府学校給食用牛乳供給事業者認 定基準及び統一仕様等における留意事項につ いて説明。	上記事項について、テキストに沿って、2名の講 師が具体例を示しながら説明。	府及び府学校給食会とともに、学乳供給事業者 の工場における施設設備、衛生管理、品質管理、 配送車の衛生状況の確認、指導を行うとともに 事故等発生した場合の緊急連絡体制の整備を確認。
(7) 成果	ストローレス対応容器をはじめ、幅広い内容につ いて意見交換を行い、関係者の理解を深めること ができた。	ストローの売買契約について、契約方法の確認と 市町村側の意向を確認していくこと、配送の効率 化には市町村側の体制整備が不可欠であること から、引き続き、市町村側の協力を求めていくこと を共通認識として確認。	牛乳・乳製品の制度改正に係る取り組み、 HACCP 手引書の改定、安全安心な製品を製造 するために必要な教育とコミュニケーションの取り 方等について、具体的な説明により、業務担当者 において、必要な情報が知ることができた。	市町村と供給契約している府学校給食会とともに 各工場の衛生面及び配送状況を確認し、製造工 程や供給実態に係る課題を共有することができ た。

令和6年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	兵庫県				
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給事業協議会 (第1回)	災害・事故発生時の委託製造に係る調査	衛生管理講習会	学校給食用牛乳供給に係る危機管理講習会	学校給食用牛乳供給推進事業に係る説明会
(2) 日付	令和6年6月12日	令和6年5月24日～6月14日	令和6年8月5日	令和6年8月22日	令和7年2月3日
(3) 場所	楠公会館 (神戸市)	メールによる調査	ヒルトンブラザウエスト 会議室 (大阪市)	楠公会館 (神戸市)	リモート開催
(4) 参加機関と 人数	(公財)兵庫県スポーツ協会県学校給食・食育支援センター 兵庫県学校栄養士協議会 兵庫県酪農農業協同組合 ハイクオリティミルク農業協同組合 兵庫県教育委員会事務局 神戸市教育委員会事務局 兵庫県農林水産部畜産課 計13人	調査実施者:兵庫県牛乳協会 調査対象者:兵庫県内学乳供給事業者(6者)	兵庫県内学乳供給事業者: 雪印メグミルク(株)神戸工場 森永乳業(株)神戸工場 丹波乳業株式会社 淡路島牛乳株式会社 兵庫県牛乳協会(事業実施主体) 計9名 その他、近畿地域の学乳供給事業者	(供給事業者) 雪印メグミルク(株)神戸工場 森永乳業(株)神戸工場 (株)共進牧場 丹波乳業(株) 淡路島牛乳(株) (配送事業者) 健乳舎牧場 松野牧場 中村牧場 兵庫県牛乳協会 計15人	兵庫県内学乳供給事業者 兵庫県農林水産部畜産課 兵庫県牛乳協会 計14名
(5) 議題	・学校給食用牛乳供給推進事業の概要について ・令和5年度学校給食用牛乳供給実績について(供給実績、警報等による休校の状況) ・令和6年度学校給食用牛乳供給計画について(供給計画量および供給区域、統一仕様、市町等からの要望等) ・令和5年度学乳事業の実績及び令和6年度学乳事業の実施計画、補助単価の見直しについて ・(一社)日本乳業協会の食育事業の紹介等	(調査目的) 災害や事故発生時、緊急時における本事業の円滑な実施のため	①衛生講習(衛生管理の基礎) ・HACCPについて ・衛生管理の基礎 ・教育・訓練とコミュニケーション ・工程での衛生・品質管理 ②乳協及び行政関連情報	①講演:なぜ食品事故は起こったのか! ②意見交換 ③情報提供:「学校給食用牛乳等供給推進事業における事故時対応マニュアル」について	・令和6年度学校給食用牛乳供給事業の実施状況について ・令和7年度学校給食用牛乳供給事業の推進について(事業の概要、事業スケジュール)
(6) 概要	・学校給食用牛乳の供給に係る実績および計画 ・納品に係る県作成の統一仕様(納品時間、衛生条件等)の見積条件) ・学校等からの要望と対応 について資料に基づき説明。	(調査内容) ・製造可能本数、供給本数、代替供給可能本数 ・製造日(前日製造・前々日製造)の状況 ・配送方法(自社・委託・販売店) ・配送用クレートの規格 ・委託製造の受入可能時間 ・緊急連絡先	・HACCP全般について ・小規模事業者におけるHACCP対策について 衛生管理の基礎、危害因子、食中毒の発生状況等についての解説と日々の記録の重要性について説明 ・牛乳に係る容器・LL牛乳に係る規制緩和の状況等、制度改正に係る説明 ・日本乳業協会が実施する衛生関係指導事業の概要説明	①広く食品産業全般の視野に立った衛生管理と危機管理の手法について事例を交えての説明 ②特になし ③県牛乳協会と県畜産課で見直しを行った「学校給食用牛乳等供給推進事業における事故時対応マニュアル」の内容を説明し、周知を図った。	県牛乳協会から、令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施状況と7年度実施計画について説明
(7) 成果	・学校給食用牛乳の供給状況 ・市町等からの要望 ・学乳供給事業における補助単価等 学乳事業全般における状況を協議会構成員に共有することができた。	・牛乳協会において、供給業者における製造可能本数、代替供給の余力等を把握し、災害や事故等の発生時に実施する委託製造に係る情報を整理できた。 ・緊急連絡先など、災害・事故対応に必要な情報について関係者間で共有できた。	・食品衛生法改正に伴い、すべての食品等事業者がHACCPに基づく衛生管理が求められ、特に中小乳業者が取り組むにあたっての姿勢を明らかにするとともに、技術的な面について、基礎的な部分から丁寧な説明がなされ、理解を深めることができた。	供給事業者、配送事業者の危機管理に対する意識づけが図られ、事故発生時の問題拡散防止につながるものと考えられる。	議題について県関係機関、学乳供給事業者との間で情報共有が図れた。

別添3(第4の1関係)

令和6年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県		兵庫県
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進協議会 (第2回)	牛乳工場現地調査
(2) 日付	令和7年3月14日	令和6年7月、令和6年12月
(3) 場所	書面開催(資料配付)	県内学乳供給事業者 生産工場
(4) 参加機関と 人数	(資料配付先) (公財)兵庫県スポーツ協会県学校給食・食育支援センター 兵庫県学校栄養士協議会 兵庫県PTA協議会 兵庫県酪農農業協同組合 ハイクオリティミルク農業協同組合 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 兵庫県畜産課 計8機関	兵庫県内学乳供給事業者 指導機関(雪印メグミルクビジネスソリューション株式会社) 兵庫県牛乳協会 計2か所(のべ4か所)
(5) 議題	・令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施状況(供給計画、実績及び遂行状況)について ・令和7年度学校給食用牛乳事業実施計画及び供給計画(実施スケジュール、供給に係る統一仕様、供給計画量、区域、供給事業者、保護者負担額及び市町教育委員会等からの要望事項)について。 ・令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業について	牛乳工場における衛生管理の点検
(6) 概要	上記事項の資料を送付し、閲覧確認及び意見を求めた。 (特に意見無し)	(調査内容) 学校給食用牛乳の製造工場にて、製造・衛生管理の状況、各工程における記録の記帳の状況について雪印メグミルクビジネスソリューション(株)とともに立ち入り検査・確認。 7月の指摘事項を12月に改善状況の確認。
(7) 成果	・令和6年度の学乳事業実績(遂行状況)及び令和7年度の実施計画 ・市町等からの要望について、協議会構成員に周知するとともに現状の認識を共有することができた。	衛生的な製造管理体制の徹底により、学校給食用牛乳を事故なく供給できることを確認することができた。

別添3(第4の1関係)

令和6年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	奈良県	
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進会議	牛乳衛生講習会
(2) 日付	令和6年6月14日	令和6年8月5日
(3) 場所	ホテルリガーレ春日野 会議室 (奈良市)	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)
(4) 参加機関と 人数	奈良県食農部畜産課 奈良県教育委員会事務局 体育健康課 奈良県学校給食会 奈良県学校栄養研究会 奈良県内学乳供給事業者 奈良県牛乳協会(事業実施主体) 計15名	奈良県内学乳供給業者 奈良県牛乳協会(事業実施主体) 計5名 その他、近畿地域の学乳供給事業者
(5) 議題	①令和5年度学校給食用牛乳供給推進事業実績及び令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業実施計画 ②配送効率化 ③その他(供給計画本数の精度向上、ストローレスについて)	・牛乳衛生講習会 ・(一社)日本乳業協会及び行政関連情報について ・参加者に対する衛生講習会「理解度チェック問題」の実施 ・HACCPの考えを取り入れた衛生管理 自己チェックリストでの製造工程点検
(6) 概要	・令和5年度学校給食用牛乳供給推進実績及び令和6年度学校給食用牛乳供給推進実施計画について資料に基づき県牛乳協会から説明。 ・配送の効率化について、配送状況を確認したところ、ドライバー不足により人件費、運賃増の状況になっており、前日午後配送などの可能性について、意向調査・アンケートの実施のため、牛乳協会から依頼文を提出することを検討。。 ・供給計画本数の精度向上、ストローレスについて、意見交換。	講師2名からテキストを基に以下について講習・説明。 1. 衛生講習 ① HACCPについて、② 衛生管理の基礎、③ 教育・訓練とコミュニケーション、④ 工程での衛生・品質管理 2. (一社)日本乳業協会の事業説明・行政関連情報 ① 協会講習会についての説明と参加要請 及び小規模事業者衛生管理支援事業による現場指導事例、② 行政関連情報の提供と説明、③ 品質事故対策、 3. 「理解度チェック問題」の実施 4. HACCPの考えを取り入れた衛生管理 自己チェックリスト。
(7) 成果	・令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画について、協議会で了承された。 ・配送効率化について、意向調査・現状把握の必要性について提案があり、牛乳協会が調査を実施することを検討課題とした。 ・供給計画本数の精度向上、ストローレス化等について、関係者間で意見交換することができた。	・衛生管理の徹底、周知を図り、参加者の衛生講習会理解度チェックを行うことによって、更なる徹底・周知を行った。 ・(一社)日本乳業協会の講習会等の事業及び行政関連情報の共有を行った。 ・供給事業者が、自己チェックリストでの製造工程点検を行うことにより、自己の衛生管理状況及び取り組み状況を客観的な視点により確認することができた

令和6年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(近畿農政局)

府県	和歌山県		
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進会議 (第1回)	牛乳衛生研修会	学校給食用牛乳供給推進会議 (第2回)
(2) 日付	令和6年5月9日	令和6年8月5日	令和7年2月6日
(3) 場所	県民文化会館 (和歌山市)	ヒルトンプラザウエスト 会議室 (大阪市)	県民文化会館 (和歌山市)
(4) 参加機関と 人数	栄養士研究会 和歌山県農協連 和歌山県畜産課 和歌山県教育支援課 和歌山県牛乳協会(事業実施主体) 計6名	和歌山県内学乳供給事業者 和歌山県牛乳協会(事業実施主体) 計4名 その他、近畿地域の学乳供給事業者	和歌山県農業協同組合連合会 和歌山県内学乳供給事業者 栄養士研究会 和歌山県畜産課 和歌山県教育支援課 和歌山県牛乳協会(事業実施主体) 計12名
(5) 議題	・令和5年度学校給食用牛乳供給推進事業実績について ・令和6年度学校給食用牛乳供給推進実施計画について ・意見交換	・乳協及び行政関連情報 ・HACCP について ・衛生管理の基礎 ・教育・訓練とコミュニケーション ・工程での衛生・品質管理	・令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業実績 中間報告及び事業評価 ・令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業計画 ・意見交換(配送の効率化の検討含む)
(6) 概要	・事業実施主体から、上記内容について報告・説明。 ・配送の効率化に向けた取組計画、取組状況、取組結果を次回までに提出を依頼 ・ストローレス対応のスクールポップ容器について意見交換を行い、生徒たちがすぐに対応出来た旨報告された。一方で、事前連絡が無く混乱したため、緊急連絡網の確認するよう事業実施主体から依頼した。	講師2名からテキストを基に以下について講習・説明。 1. 衛生講習 ① HACCPについて、② 衛生管理の基礎、③ 教育・訓練とコミュニケーション、④ 工程での衛生・品質管理 2. (一社)日本乳業協会の事業説明・行政関連情報 ①小規模事業者衛生 管理支援事業について、② .牛乳・乳製品の制度改正に係る取り組みやHACCP の手引書について、③ 品質 事故事例の経緯、背景、対応等 3. 「理解度チェック問題」の実施	・県牛乳協会から令和6年度学校給食用牛乳供給推進事業(1学期・2学期の執行状況及び事業評価)について報告、令和7年度度学校給食用牛乳供給推進事業計画を説明。 ・配送業者から効率が悪いと、学乳の配送を断られると報告があり、学校側に理解を求めた。 ・来年度から学乳の発注書にてWEB 化について説明。
(7) 成果	・令和6年度実施計画の説明により、事業を円滑に実施することができた。 ・ストローレス対応のスクールポップ容器について、関係者間で情報交換ができた。	・HACCP に沿った衛生管理の講習会及び講習会後の自己チェックリストを通してHACCP の周知の徹底を図ることができた。 ・日本乳業協会による行政関連情報で昨年度より新たに品質事故の事例を2つ挙げて記録の重要性及び検査の正確性を学んだ。	・計画策定・課題等の協議・検討により円滑に事業を実施できた。 ・効率的な供給のための課題を関係者間で共有できた。 ・供給事業者から関係者に対して、令和7年度以降、オンライン発注を導入することを共有することができた。